

飛び込み授業第7弾

由布市立東庄内小学校のステキな3年生と学びました！

2学期が始まって数日でしたが、元気あふれる、それでいて優しい雰囲気の3年生と楽しくも感動した時間を過ごしました。

アイスブレーキングの「5回連続じゃんけん」では、男女関係なく誰とでも行い、最後まで諦めずに頑張っていました。そのような集団だから、後から行う学び合いも、素早く動き多くの友達どうして協力することができました。切り替えのスピードもはやく、私が指示する前に何をすべきかを予想する子どもも増えてきたので内容の濃い学びとなりました。日頃の学級経営が素晴らしいので、今日はその成果がとても発揮できたようです

感動！！ここまでできる3年生

最初、言われて嬉しい言葉を3分間でいくつ書けるか個人で考えさせました。

一番多く書いた子どもは、次のみんなと交流する際に、自分の書いた内容が友達の参考になると考え、ワークシートを机に置き、書けていない友達の所に行って、一生懸命教えていました。

そのため、多くの子ども達はその子どもの例を参考にして書き加えていました。→【みんなが成長】

その子どもは、いろいろな友達に支援をしながらも、自分も他の友達の例を参考にして、さらにつけ加えていました。子どもは、クラス全員のために、さらに自分自身も成長するために、どのようなすれば良いかを考え、自ら行動できるのです。また、自由に交流する場を設けることで、それぞれの子どもの良さが発見できることを、子ども達から学ぶことができました。

最後には、12月24日（2学期終業式）に、どんな言葉を言われたいか。そのために、今日から頑張ることを一人一人決めました。

授業後も、多くの子ども達が自分の思いを伝えてくれました。また、校長室に来て、「校長先生が写した写真を僕のタブレットに送ってください」と言う子どもも。本校の子ども達はタブレットを文房具のように使っている様子を知ることができました。これからの成長が楽しみな3年生。また、会いたいな！



NO.207 2021年8月 東庄内小学校

学ぶスピード

多くの友達の考えを知りたいから、自分の思いを伝えたいから動きもはよくなる。



NO.205 2021年8月 東庄内小学校

みんなが成長

考えたことを出し合うと、考えの幅が広がる。組み合わせることで新たな考えも生まれる。



NO.206 2021年8月 東庄内小学校

黒板に書く

授業の主役は子ども達。だから、道具である黒板も子ども達が使うのだ。



NO.208 2021年8月 東庄内小学校

先生はどちら

「さっきの写真を送ってください」
「どうやって送るの？」
「それはですね・・・」
学び合う時は対等ですね。